

2013 年度 神戸大学山岳部 槍穂高縦走 報告書

文章：山本

日程：2013/9/27-29

参加者：坂本(M2), 山本(2), 榊原(3), 井部(1)

9/27 晴天

行程：上高地：7:00/7:15 明神館：7:50/8:00 徳澤：8:45/8:50 横尾：9:35/9:55 一ノ俣：10:30
槍沢ロッヂ：11:00/11:10 大曲：12:05 槍ヶ岳山荘：15:10

前日の 23 時に神戸を出た。今回はカーナビが無かったので人力でナビをするが、坂本以外の 3 人はあまり役に立たない。結局、スマホの Google ナビが一番優秀だった。平湯まではおよそ 5 時間、途中でコンビニに立ち寄ったがとても寒い。標高 3000m ならもっと寒いのか、と思うと気が重かった。平湯に着くと満天の星空。正直今回一番綺麗に見える場所だった。

平湯からはバスで行くことにした。4 人以下ならタクシーよりバスの方が実はお得なのだ。徹夜で運転をしてくれた坂本さんはバスに乗るやいなや爆睡、相当お疲れだ。上高地は思った通り肌寒く、上高地ソフトクリームなるものを売っている店は商才がないなと思ったが、それは間違いだと帰りに気づく。

明神館、徳澤、横尾までの道は歩く速度は速かったが、休憩の取り方が下手であり時間を稼げたとはいえない。それなのに、歩くのは速かったので小さな靴擦れが小指にできた。休憩の取り方も意識しなければ全体としてスピードアップは見込むことができない。

槍沢ロッヂはここまでの行程で一番好きな場所かもしれない。そこから大曲までは順調に進んだ。だが、ここからの登りがだらだらと長く、日差しも強くて山本は頭痛を感じ始めていた。坊主岩小屋あたりではもう高度障害らしきものが出始めていて、坂本さんに至っては途中 20 分程ガチ寝をするほど参っていた。槍沢からのアプローチは今後躊躇してしまう。そう考えると新入生 2 人はよく頑張っていたと思う。槍ヶ岳山荘に到着しても体調が優れず、この日の内に槍ヶ岳ピストンは諦めることにした。というのも、テントを張ってから 16 時半頃まで寝ていたからだ。結局この日は、榊原以外 SP02 値が 85 を下回る状態で就寝した。

9/28 晴天

行程：起床：3:00 槍ヶ岳：4:55/5:05 槍ヶ岳山荘：6:05 大喰岳：6:20/6:25 南岳小屋：8:00/8:30
北穂高小屋：11:20/11:30 濁沢岳：13:35/13:40 穂高岳山荘：14:00

朝起きてしばらくしても SP02 値は 80 台だが、昨日よりは体調が回復している。まだ調子が上がらない坂本さんを残して槍ヶ岳ピストン。山頂は予想以上に近く、日の出は見られなかったがモルゲンロートと富士山が見られたので良かった。坂本さんの体調次第では計画変更やむなしだったが、結局は全員でキレットへ向かうことにした。途中南岳で水を補給し、炭酸飲料も補給した。

大キレットは確かに難しい岩稜地帯だが、焦らず集中力を保てばそこまで怖い岩稜ではなか

った。逆に言うと、油断すれば相応に危険度が増す。恐怖で萎縮するのではなく、冷静に対処することが第一に大切なことだろう。北穂高岳に着くと一安心するが、ここから先も油断はできない。滝谷を眺めながら涸沢岳へと向かう。新入生は息が上がりながら岩稜歩きをしていたので少しペースをゆっくり目にした。

穂高岳山荘は快適だ！社会人になったら泊まりたい。この日は時間に余裕があったので、しっかり体を休めることができてよかった。榊原は両方のかかとうが見事に剥けていて、本人はそうでも無いと言っていたが、自分なら（坂本さんも）即下山するレベルだったので明日の西穂高岳はキャンセルし、岳沢から下山することにした。

9/29 晴天

行程：起床：3:00 穂高岳山荘：4:10/4:30 奥穂高岳：5:10/5:50 前穂高岳：7:35/7:45

紀美子平：8:15/8:30 岳沢小屋：10:15/10:30 上高地 12:05

3時起き 4時半出は余裕で、4:10頃には山荘前で歯を磨いていた。生活技術が上がってきているのだろう。時間に余裕があるので奥穂高岳頂上にて日の出を待つことに。とても綺麗でした。前穂ピストンは思ったより長くて道があっているのか不安になったが、そのうちに到着した。北尾根が北じゃないと文句を言いつつ紀美子平へ戻る。岳沢の下りはダルいと前から聞いていたが、少なくとも岳沢小屋までは楽しい岩々した道だと思う。小屋に着く頃には指がそろそろ限界で、一回オフ山靴をした。そこから上高地までは長かったが、初日のことを思えばそうでもない。

やっとの思いで上高地に到着し、とりあえずは梓川で足を冷やす。一段落すると今度は売店で試食をいただく。椎茸とジャムがうまかった。時間が来たので集合場所に戻ると、井部と榊原はソフトクリームを買っていて、少し分けてもらった。コーンも欲しかったけどそこは我慢。

天気が良くて、充実した行程で、飯もうまかったし、とても楽しい山行でした。運転手の坂本さんは本当にお疲れ様でした。

おわり

反省点

- ・休憩の取り方が下手。
- ・横尾までの歩きが速すぎて、靴擦れを起こす。
- ・全体的に調子が上がらなかった。
- ・岩稜歩きをもっと上手になろう。
- ・新入生、体力がもう少し欲しい所。
- ・高度順応の為に一回は富士山に行きたいと思った。
- ・米炊きは難しい！アルミ鍋を使い、テント内で炊くのが吉？

新入生もよくがんばりました。お疲れさまです。